

3 事業所規模30人以上の調査結果

(1) 賃金の動き

・名目現金給与総額は4.7%増加、実質現金給与総額は3.2%増加

平成9年の1人平均月間現金給与総額は、調査産業計で399,261円、前年比4.7%増で、8年の1.8%増の伸びを2.9ポイント上回った。

また、現金給与総額の実質賃金は前年比3.2%増で8年の1.9%増の伸びを1.3ポイント上回った。

なお、全国の伸び率と比較してみると、名目賃金の全国平均は2.0%増で三重県が2.7ポイント上回り、実質賃金の全国平均は0.4%増で三重県が2.8ポイント上回った。

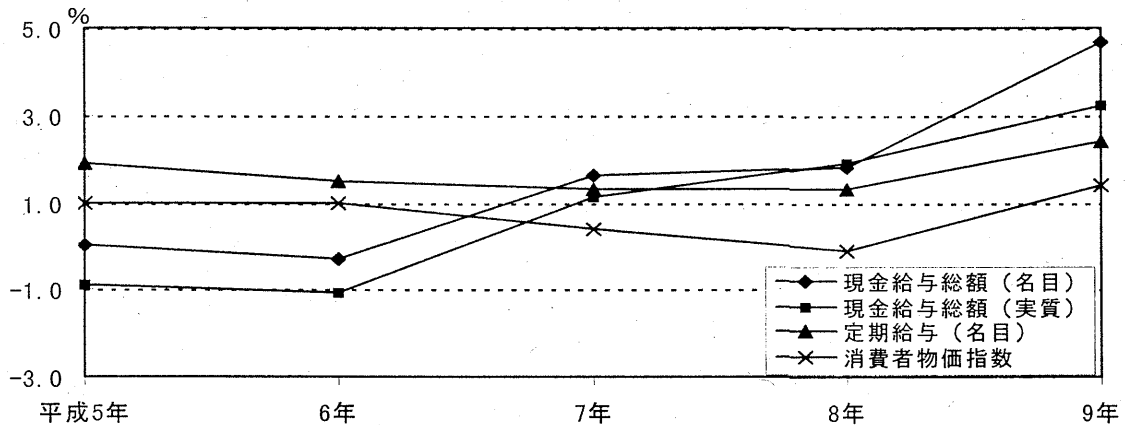
賃金の過去5年間の動きについてみると、下図のとおりとなっている。(表1・図1)

表1 賃金の動き

(単位：円・%)

	三重県							全国						
	名目賃金			実質賃金		消費者物価		名目賃金			実質賃金		消費者物価	
	金額	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率	金額	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率
平成5年	372,058	98.7	0.0	100.0	-0.9	98.7	1.0	393,224	96.5	0.6	96.7	-0.6	99.8	1.1
6年	376,316	98.5	-0.3	98.9	-1.1	99.6	1.0	401,128	98.3	1.8	98.0	1.3	100.3	0.5
7年	386,712	100.0	1.6	100.0	1.1	100.0	0.4	408,864	100.0	1.8	100.0	2.1	100.0	-0.3
8年	381,478	101.8	1.8	101.9	1.9	99.9	-0.1	413,096	101.6	1.6	101.6	1.6	100.0	0.0
9年	399,261	106.6	4.7	105.2	3.2	101.3	1.4	421,384	103.6	2.0	102.0	0.4	101.6	1.6

図1 賃金の増減率の推移—調査産業計—



現金給与総額の内訳をみると、定期給与は299,532円、前年比2.4%増、で8年の伸び率を1.1ポイント上回った。また、特別給与は99,729円、前年差10,984円増であった。

(表2)

表2 月間賃金の内訳

(単位：円・%)

	現金給与総額		定期給与		特別給与	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	実数	対前年増減差
平成5年	372,058	0.0	282,808	1.9	89,250	-2,704
6年	376,316	-0.3	290,638	1.5	85,678	-3,572
7年	386,712	1.6	298,486	1.3	88,226	2,548
8年	381,478	1.8	292,733	1.3	88,745	519
9年	399,261	4.7	299,532	2.4	99,729	10,984

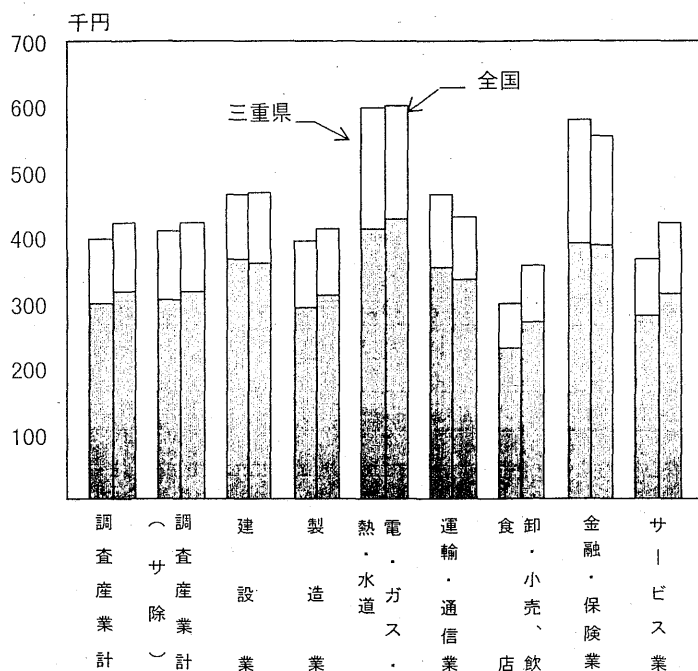
◆ 産業別賃金

産業別の賃金を現金給与総額で比較すると、電気・ガス・熱供給・水道業(598,792円)が最も高く、最低は卸売・小売業、飲食店(298,562円)であった。全国の場合は、電気・ガス・熱供給・水道業が最も高く、製造業が最も低くなっている。

また、現金給与総額の動きを対前年増減率で比較すると、卸売・小売業、飲食店が9.9%増と最も増加し、次いで製造業の6.4%増が続いている。一方、金融・保険業は9.9%減と大幅に減少した。

全国の現金給与総額と比較すると、金融・保険業、運輸・通信業で全国平均を上回った。(表3・図2)

図2 産業別現金給与総額



■ 定期給与 □ 特別給与

表3 産業別賃金の動き

(単位: 円・%)

	三重県						全国					
	現金給与総額		定期給与		特別給与		現金給与総額		定期給与		特別給与	
	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年差	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年差
調査産業計	399,261	4.7	299,532	2.4	99,729	10,984	421,384	2.0	316,622	1.5	104,762	3,700
調査産業計(サ除)	408,786	5.2	304,940	2.5	103,846	12,611	420,949	1.9	317,234	1.4	103,715	3,505
建設業	466,335	1.5	366,307	3.8	100,028	-6,922	468,282	1.5	360,618	1.5	107,664	1,202
製造業	393,921	6.4	292,185	1.9	101,736	18,093	412,799	2.8	310,166	2.2	102,633	4,945
電・ガス・熱・水道	598,792	5.6	412,748	4.0	186,044	14,697	601,639	1.9	427,841	0.8	173,798	8,012
運輸・通信業	466,441	6.2	355,667	6.3	110,774	6,890	432,889	-0.5	335,411	-0.6	97,478	-158
卸・小売・飲食店	298,562	9.9	231,138	4.7	67,424	16,156	356,854	2.4	271,560	2.1	85,294	3,093
金融・保険業	580,045	-9.9	392,336	-7.3	187,709	-32,445	554,038	1.4	389,165	0.1	164,873	7,407
サービス業	365,670	3.0	280,461	1.7	85,209	5,223	422,461	2.2	315,107	1.6	107,354	4,136

◆ 男女別賃金

男女別に現金給与総額を調査産業計で比較すると、男子497,336円、女子230,566円となり、月額男女差は266,770円であった。

産業別支給額でみると、男子で最も金額が高いのは金融・保険業で、最も金額が低いのは卸売・小売業、飲食店で、その差は355,004円であった。一方、女子で最も金額が高いのは電気・ガス・熱供給・水道業で、最も金額が低いのは卸売・小売業、飲食店で、その差は181,148円であった。

また、男女の賃金格差を男子を100としてみると女子は、調査産業計では46.4で、全国平均の51.1に比べて4.7ポイント格差が開いている。産業別では、金融・保険業が38.7で最も格差が大きく、電気・ガス・熱供給・水道業が54.9で最も格差が小さい。(表4)

表4 産業別現金給与総額の男女差 (単位：円)

	三重県			全国		
	男子	女子	男子=100	男子	女子	男子=100
調査産業計	497,336	230,566	46.4	510,470	260,599	51.1
調査産業計(サ除)	497,032	206,950	41.6	507,475	227,951	44.9
建設業	497,003	209,878	42.2	504,343	261,715	51.9
製造業	481,592	206,132	42.8	498,192	218,514	43.9
電・ガス・熱・水道	643,205	353,272	54.9	637,291	366,750	57.5
運輸・通信業	503,744	212,026	42.1	469,218	247,883	52.8
卸・小売・飲食店	438,038	172,124	39.3	491,825	193,880	39.4
金融・保険業	793,042	306,846	38.7	750,030	338,556	45.1
サービス業	499,157	273,411	54.8	520,188	313,544	60.3

◆ 就業形態別賃金

就業形態別に現金給与総額をみると、調査産業計では、一般労働者439,620円、パートタイム労働者102,533円であった。一般労働者の現金給与総額を100としたパートタイム労働者の現金給与総額を主要産業別にみると、調査産業計で23.3、製造業で26.8、卸売・小売業、飲食店で26.8、サービス業で21.8となり、サービス業の格差が大きくなっている。(表5)

表5 就業形態別賃金 (単位：円)

	一般労働者			パートタイム労働者			
	現金給与総額	定期給与	特別給与	現金給与総額	格差	定期給与	特別給与
調査産業計	439,620	327,334	112,286	102,533	23.3	95,128	7,405
製造業	421,082	310,667	110,415	112,734	26.8	100,847	11,887
卸・小売・飲食店	386,377	291,222	95,155	103,602	26.8	97,744	5,858
サービス業	420,026	318,657	101,369	91,612	21.8	87,878	3,734